



### 旭川 北海道と熊本をつなぐ「生きた教材！」

国際協力推進員/石井 JICA旭川デスク(旭川市役所第3庁舎国際交流課内)

「社会科の勉強で、あたたかい地方と寒い地方のことについて調べています」というメールが届いたのは、今年の1月15日(木)、まだ雪深く寒さが厳しい冬でした。



▲熊本の子どもたちはここでも短パン!

熊本県山鹿市立中富小学校の5年生(10名)と、縁あって北海道の様子

をメールで伝えることになりました。子どもたちから社会科の授業のときに質問をもらい、その後すぐ外に出て写真を撮り、様子を伝え送信しました。「北海道では気温や遊びが全然違ったのでとてもびっくりしました」、「木に氷がついているのがとってもびっくりしました」。同じ日本でも北海道と熊本では気候や生活習慣の違いがありました。灯油タンクが大きかったこと、窓が二重になっていることなど、発見がたくさんあ



▲熊本では初夏の5月下旬、旭川市役所本庁舎前にはようやく満開の八重桜

りました。外国へ行かなくても普段の生活のなかでの違いを中富小学校の子どもたちに気づかせてもらいました。



### 函館 大人の文化祭～バル街～

国際協力推進員/津田 JICA函館デスク((財)北海道国際交流センター内)

函館で年2回行われる「バル街」。回数券を購入し、色々な店を練り歩くイベントです(回数券が5枚あれば5件のお店でドリンクと軽食が食べられます)。



▲バル街のJICA函館コーナーの様子

今回、JICA函館デスクも仲間に入れてもらい、フェアトレード商品

や海外のカレーを販売・紹介。オープン前から沢山の方に並んで頂き、とっても楽しい時間を過ごしました。

#### みんなで考えよう!!地球のこと～アースデイ～

4月22日、函館在住の外国人の方々に集まって頂き、外国人の方からみた日本人を熱弁して頂きました。「おしっこを流すだけで8ℓの水を使うなんて」「寒いと言って、ス



▲アースデイでのセミナーの様子

トープをガンガン焚いてアイスクリームやビールを飲んでいる。1枚多く着りゃ良いのに」などと言われましたよ～!!どきっ!!みなさんはいかがですか?



### 札幌 音を感じる世界へ～草の根技術協力事業～

市民参加協力調整員/大弥 JICA札幌



▲フィリピンからの研修員

市民参加協力調整員は草の根技術協力事業、青年研修事業、各種イベントなど様々な事業に携わることができます。なかでも草の根技術協力事業のひとつ、「フィリピン国における聴覚障害教育体制支援プロジェクト」(実施団体:フィリピン耳の里親会)は今年度すでに活動を開始し、5月にはフィリピンから3名の研修生が北海道を訪れ、聴覚障害児教育を学びました。

フィリピンといえば、豊かな自然や南国ビーチ、ホスピタリティあふれる人々のイメージがありますが、その裏では胎生風疹の予防接種が普及しておらず、日本の10倍もの聴覚障害発症率が報告されています。

福祉施策や教育行政が未整備であるフィリピンで聴覚障害教育を普及させることは容易なことではありません。それでも研修生は聴覚・口話法等の技能を自国に伝えようと毎日一生懸命学びました。時にはレポート



▲研修の様子

作成に苦勞し、ある時は望郷の念にかられ涙することもありました。そして彼女らは今、フィリピンで聴覚障害児教育の良き指導者になっています。

#### 新スタッフ紹介

ハワイにも行ったことのない私が憧れの青年海外協力隊としてアフリカ大陸に渡ったのは2002年。それから2008年までアフリカ大陸を離れることはありませんでした。これからは、故郷札幌で北海道のみなさんのアイデアや熱意を国際協力に結びつけるのが私の仕事です。どんなことでもお気軽にお声かけください!

セネガルは第2の故郷。そこの経験が今の私を支えています。



市民参加協力調整員 大弥 路子

#### 新スタッフ紹介

教員長期社会体験研修員として、石狩市立浜益小学校から1年間出向。国際協力に関わる多くの人々に出会い、日々刺激を受けています。JICAの進める開発教育支援事業に携わることで、この事業をより多くの教員の皆さんに活用していただくために、パイプ役としての役割が果たせるようがんばります!

次の目標が決まりました。「いずれはシニアボランティアへ」です。



教員長期社会体験研修員 新谷 浩一